

サポート情報

「コンパクト微生物学（改訂第5版 第1刷）」

一部内容について、最新の情報に基づき以下の通り補足・訂正いたします。

頁	該当箇所	旧	新
106	16～22行目	2020年の12月末の時点で、全世界にて約8千万人の感染者、約180万人の死者を出すに至っている。わが国では、約24万人の感染者、約3,500人の死者となっている。新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は高齢者に致死率的肺炎を引き起こす。2020年7月の時点では、日本国内において80歳以上の致死率は30%であるとの報告もある。新型コロナウイルスでは、症状が明らかになる前から、感染が広がるとの指摘や研究結果が示されていることから、常に人と人との距離をとる、いわゆる、Social distancingが拡大防止に重要とされている。	その後、二類感染症相当になり、2023年5月8日以降は五類感染症に移行した。2023年4月末の時点で、全世界にて約7億6千万人の感染者と約690万人の死者を、わが国では約3,350万人の感染者と約7万4,000人の死者を出すに至っている。本ウイルスは主に飛沫と接触を介して感染し、呼吸器症状、高熱、下痢、味覚障害など様々な症状を引き起こす。高齢者や心疾患、糖尿病の患者では重症の肺炎に進行しやすい。ウイルスの変異や宿主免疫の減弱のため、再感染が起こりやすい。ワクチン（とくにmRNAワクチン）や抗ウイルス薬による予防法・治療法の開発・普及が進められている。

2024年4月5日

株式会社南江堂